



ユーザの管理

- [HyperFlex ユーザの管理の概要 \(1 ページ\)](#)
- [HX データ プラットフォーム RBAC ユーザの作成 \(4 ページ\)](#)
- [ユーザへの権限の割り当て \(4 ページ\)](#)

HyperFlex ユーザの管理の概要

HX Data Platform でアクションを実行したり、コンテンツを表示できるユーザのタイプには次のものがあります。

- **admin** : HX Data Platform に含まれている定義済みユーザ。パスワードは、HX クラスタの作成時に設定されます。同じパスワードが root に適用されます。このユーザは読み取りおよび変更のアクセス許可を持ちます。
- **root** : HX Data Platform に含まれている定義済みユーザ。パスワードは、HX クラスタの作成時に設定されます。同じパスワードが admin に適用されます。このユーザは読み取りおよび変更のアクセス許可を持ちます。
- **administrator** : 作成された HX Data Platform ユーザ。このユーザは vCenter を介して作成され、RBAC の役割、administrator が割り当てられます。このユーザは読み取りおよび変更のアクセス許可を持ちます。パスワードは、ユーザの作成時に設定されます。
- **read-only** : 作成された HX Data Platform ユーザ。このユーザは vCenter を介して作成され、RBAC の役割、read-only が割り当てられます。このユーザは読み取りアクセス許可のみを持ちます。パスワードは、ユーザの作成時に設定されます。

| ユーザ (User) | HX Data Platform インストーラ | HX Connect | HX Data Platformstcli コマンドラインを使用したストレージコントローラ VM | vCenter を介した HX Data Platform プラグイン | HX REST API |
|-----------------------------|-------------------------|--|--|--|--|
| admin | 必須 (Required) | local/ プレフィックスが必要です。例： local/admin | 管理者権限 ほとんどの HX タスクを実行できます。 | 管理者権限 すべての HX タスクを実行できます。 | local/ プレフィックスが必要です。例： local/admin |
| root | オプション | local/ プレフィックスが必要です。例： local/admin | root 権限 すべての HX タスクを実行できます。 | root 権限 すべての HX タスクを実行できます。 | local/ プレフィックスが必要です。例： local/admin |
| hx-admin-user | 無効 | 管理者権限 ほとんどの HX タスクを実行できます。 優先ユーザ。 | vc- プレフィックスが必要です。例： vc-hxadmin 管理者権限 ほとんどの HX タスクを実行できます。 | vCenter SSO ユーザ。 管理者権限 ほとんどの HX タスクを実行できます。 | vc- プレフィックスが必要です。例： vc-hxadmin 管理者権限 ほとんどの HX タスクを実行できます。 |
| hx-readonly-user | 無効 | 読み取り専用権限 モニタリング情報を参照するのみができます。 ほとんどの HX タスクは実行できません。 優先ユーザ。 | vc- プレフィックスが必要です。例： vc-hxreadonly 読み取り専用権限 モニタリング情報を参照するのみができます。 ほとんどの HX タスクは実行できません。 | vCenter SSO ユーザ。 読み取り専用権限 モニタリング情報を参照するのみができます。 ほとんどの HX タスクは実行できません。 | vc- プレフィックスが必要です。例： vc-hxreadonly 読み取り専用権限 モニタリング情報を参照するのみができます。 ほとんどの HX タスクは実行できません。 |

ユーザ管理用語

- **認証**：ログインクレデンシャル用。これらのプロセスは、通常ユーザ名とパスワードに基づいて、指名ユーザのユーザクレデンシャルを確認します。認証は、一般的にユーザクレデンシャルを確認して、セッションを認証されたユーザと関連付けます。
- **承認**：アクセス許可用。これらのプロセスは、ユーザの ID に基づいて、ユーザ/クライアントアプリケーションが、管理対象エンティティの作成、読み取り、更新、または削除、あるいはプログラムを実行などの、いくつかのアクションを実行することを許可します。承認は、認証済みユーザがサーバ上での実行を許可されることを定義します。
- **アカウントティング**：ユーザ操作の追跡用。これらのプロセスは、レコードをキープし、ログインセッションおよびコマンドの実行を含むユーザの操作を追跡します。情報はログに保存されます。これらのログは、HX Connect または他の HX Data Platform インターフェイスを通じて生成することができるサポートバンドルに含まれます。
- **アイデンティティ**：個人に、付与された権限を持つロールを割り当てられている ID がプロビジョニングされます。
- **権限**：リソースを使用するためにロールに与えられる設定。これは、ロール、リソースおよびリソースによって公開されている機能の間のリンクです。たとえば、データストアはリソースであり、ロールの変更はデータストアをマウントするために付与された権限ですが、読み取り専用ロールは、データストアが存在することを表示できるだけです。
- **特権**：ID とアプリケーションの間のリンク。アプリケーションとの特定のインタラクションのコンテキストで使用されます。例：仮想マシンの電源をオンにする、データストアを作成する、データストアの名前を変更する、など。
- **リソース**：GET、POST、DELETE、HEAD、およびその他の HTTP 動詞を使用して HTTP 経由でその機能と管理制御が公開されている、HX プラットフォーム全体です。データストア、ディスク、コントローラ ノード、クラスタ属性は、REST API を使用してクライアントアプリケーションに公開されているすべてのリソースです。
- **ロール**：権限範囲レベルを定義します。アプリケーション機能は、1 つまたは複数のロールによって実行される可能性があります。例：管理者、仮想マシン管理者、リソースプール管理者など。ロールは、特定の ID に割り当てられます。

AAA アカウンティングの監査ログ

AAA アカウンティングをサポートするため、HX Data Platform ではユーザアクティビティの監査ログを実装しています。これらのログは、生成されたサポートバンドルに含まれます。

HX Connect を含む HX Data Platform インターフェイスを介したサポートバンドルの生成については、Cisco HyperFlex Systems Troubleshooting Guideを参照してください。

- **stMgrAudit.log**：stcli アクティビティの監査レコードが含まれます。
サンプルエントリです。キーワード `Audit` をメモします。

```
2017-03-27-22:10:02.528 [pool-1-thread-1] INFO Audit - 2017-03-27-03.10.02 127.0.0.1
--> 127.0.0.1 POST /stmgr 200 : root 27ms
```

このファイルには、同様に他の情報が含まれています。監査イベントのフィルタ処理は、スクリプトを使用して単語 `Audit` をフィルタします。

- **audit.log** : REST API アクティビティの監査レコードが含まれます。

サンプル エントリです。ユーザ名 `administrator@vsphere.local` をメモします

```
2017-03-29-01:47:28.779 - 127.0.0.1 -> 127.0.0.1 - GET /rest/clusters 200;
administrator@vsphere.local 454ms
```

HX データ プラットフォーム RBAC ユーザの作成

HX Data Platform は、管理者および読み取り専用の 2 種類のユーザをサポートしています。VMware vCenter インターフェイスを介して HX Data Platform の新しいユーザが作成されます。

始める前に

ユーザを作成するには、管理者特権が必要です。

ステップ 1 vCenter 管理者として vSphere Web クライアント にログインします。

ステップ 2 [ナビゲーターホーム (Navigator Home)] から、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] > [ユーザ (Users)] に進みます。

ステップ 3 [追加 (Add)] (+) アイコンをクリックして、ユーザを追加します。[ユーザの新規作成 (New User)] の情報を入力し、[OK] をクリックします。

新しいユーザの [ユーザ名 (User Name)] および [パスワード (Password)] を指定します。

パスワードには、エスケープ文字 (\)、ドル記号 (\$)、疑問符 (?)、等号 (=) を使用しないでください。ユーザ名に使用できる唯一の特殊文字は、アンダースコア (_)、ダッシュ (-)、ドット (.) です。ユーザ名とパスワード要件については [HX Data Platform の名前、パスワード、および文字](#) を参照してください。

次のタスク

RBAC ロール グループにユーザを追加します。 [ユーザへの権限の割り当て \(4 ページ\)](#) を参照してください。

ユーザへの権限の割り当て

権限は、vCenter の RBAC を通じてユーザに割り当てられます。権限を割り当てるには、管理者または読み取り専用グループにユーザを追加します。

始める前に

ユーザを作成します。

ステップ 1 vSphere Web クライアントで、[ナビゲータ ホーム (Navigator Home)] > [管理者 (Administration)] > [グローバル権限 (Global Permissions)] > [管理 (Manage)] の順に選択します。

ステップ 2 [追加 (Add)] (+) アイコンをクリックして権限を割り当てます。

ステップ 3 [割り当て済みの権限 (Assigned Role)] を選択します。

[グローバル権限ルート - 権限の追加 (Global Permission Root - Add Permission)] ダイアログボックスで、[割り当て済みの権限 (Assigned Role)] ドロップダウンメニューから選択します。次のいずれかを実行します。

- 管理者 (Administrator)
- 読み取り専用 (Read only)

ステップ 4 [ユーザとグループ (Users and Groups)] 領域で、[追加 (Add)] をクリックします。

ステップ 5 [ユーザ/グループの選択 (Select Users/Groups)] ダイアログボックスで、`user_name` を選択して [追加 (Add)] をクリックします。

ステップ 6 [名前確認 (Check names)] ボタンをクリックしてユーザ名を確認します。

ステップ 7 [OK] をクリックして各ダイアログボックスを閉じます。
